

料金後納郵便

ゆうメール

毎月1回5日発行
令和5年10月5日発行
昭和30年5月20日
第三種郵便物承認



高岡商工会議所会報

たかおか

10

2023
October

NO.786

[特集]

迫りくるコンピュータウイルスの脅威
サイバーセキュリティで企業を守ろう





サイバー セキュリティで 企業を守る



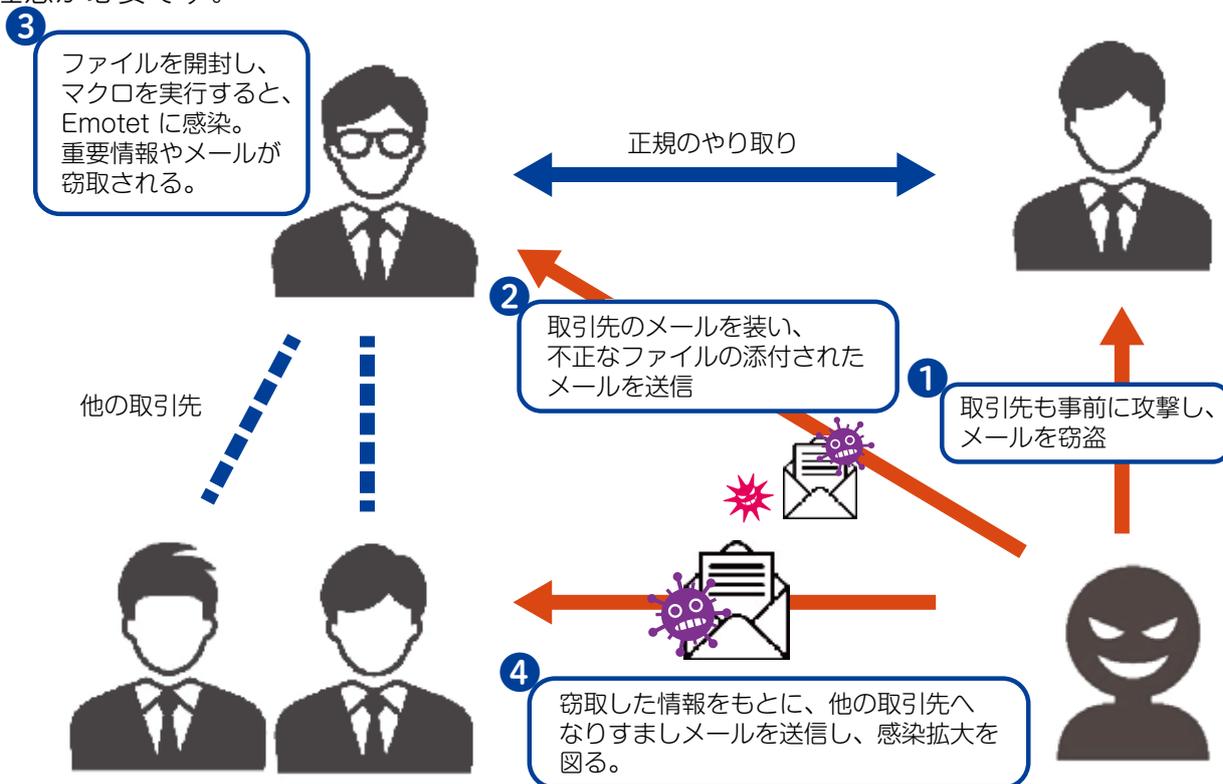
ネット社会の進展とともに、近年中小企業をターゲットにしたサイバー犯罪が多発しています。代表的なところは、ここ数年定期的に流行っているEmotetとランサムウェアになります。サイバー攻撃により、ウイルス感染すると、その被害復旧対応には多大な労力を要し、信用低下にもつながりかねません。

こうした被害を防ぐためには日頃の対策と、被害にあった際の対応をしっかりと把握しておく必要があります。今回は、サイバー犯罪とそれらの対応についてご紹介します。

コンピュータウイルスと対策

🌟 Emotet -エモテット- とは

マルウェア*の一種であり、メールの添付ファイルを主な感染経路とします。ウイルスに感染すると、メールアカウントやパスワード、連絡先などの個人情報窃取され、取引先などへも感染が拡大します。また、他の不正プログラムに感染させる機能も持つため、注意が必要です。



*ウイルスを含む、あらゆる種類の悪意のあるソフトウェア

ランサムウェアとは

パソコンをウイルスに感染させ、そのデータを暗号化して使用を制限し、その解除と引き換えに金銭を要求するマルウェアの一種です。近年、被害件数が増加するとともに悪質化が懸念されています。

●従来のランサムウェア攻撃

メールや悪意のあるウェブページから不特定多数にランサムウェアをばら撒き、データの復旧と引き換えに身代金を要求します。

●新たなランサムウェア攻撃

企業や組織をターゲットとしてネットワークに密かに侵入し、データの窃取や暗号化を行います。その後、データの復旧と引き換えに身代金を要求し、支払いに応じない場合は窃取したデータを公開すると恐喝する「二重恐喝」を仕掛けます。大量のデータやシステム全体が機能不全となる可能性があるため、事業継続性にも大きな問題が生じます。

ウイルスに感染したときの対処法

①感染端末をネットワークから隔離

- ・有線LAN の場合 ▶ LAN ケーブルを抜く
- ・無線LAN の場合 ▶ Wi-Fi をオフにする

②至急セキュリティ担当者へ報告

同時に **警察へ相談・通報を!!**

内部の不正や不注意による情報漏えい

外部からの攻撃だけでなく、社員や関係者、退職者などによる内部の不正、人為的ミスにより、情報等が漏えいする可能性があります。内部による情報漏えいへの対策として、以下の対応が必要となります。

- ①社内で使用しているパソコンの台数やソフトウェアを明確に把握すること
- ②情報管理者の明確化
- ③私物のUSBメモリの使用制限
- ④外部へのデータ持ち出しの管理厳格化

**2022年度から施行
情報流出事案の公表義務化
違反業者は 最大1億円の罰金**

国の対策 改正個人情報保護法

- ①本人の権利保護が強化
- ②事業者の責務が追加(報告の義務化)
- ③企業の特定分野を対象とする団体の認定団体制度新設
- ④データの活用
- ⑤法令違反に対する罰則が強化
- ⑥外国の事業者に対する、報告徴収・立ち入り検査などの罰則が追加

⇒企業に求められる責任が大きくなっている

サイバー犯罪の被害を防ぐためには、各個人の情報リテラシーを向上させ、危機管理意識を高めることが不可欠です。社内全体で注意点や対応を確認する機会を定期的に設けることが重要です。被害に遭った際には、被害の更なる拡大や信用低下を防ぐためにも対応マニュアルの策定をお勧めします。

ウイルスに感染した場合は、すぐに警察に通報を!

【問合先】 富山県警察 警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課
TEL 076-441-2211

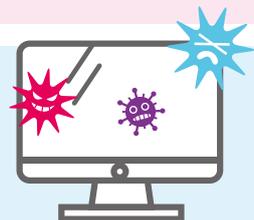


PHOTO LIBRARY



9.1

合同オープン講演会を開催

富山県での商品開発の経験からヒントを得る

高岡商工会議所女性会及び観光・サービス業部会合同でオープン講演会を開催し、56名が参加した。講師にボディファッションコンサルタントである土井千鶴氏を迎え、「地域を元気にする商品を開発するために」というテーマで、鐘紡の工場や福岡のシルク工場、氷見市・小矢部市の工場で行った商品開発の経験についてご講演いただいた。参加者は、講演会を通して自社経営を地域経済の活性化につなげるヒントを探った。



9.11~14

5 常任委員会開催

令和6年度提案要望について協議

まちづくり常任委員会など5常任委員会が高岡商工ビルで開催され、令和6年度の高岡市への提案要望について協議が行われた。委員会ごとに高岡テクノドーム別館の着実な整備等の重点要望項目や若者・女性に選ばれる地域・企業づくりへの支援等の新規要望や、継続要望について意見交換が行われた他、今後の委員会活動について活発に協議がなされた。各委員会からの意見を取りまとめた後、11月に高岡市への要望書提出を予定している。



9.13~15

集団健康診断を実施

年に一度はメディカルチェック

会員事業所から希望者を募り、2023年度の集合健康診断を実施した。毎年(一財)北陸予防医学協会の巡回健診を高岡商工ビルで行い、身体測定や尿検査などの基本的な診断から、胃部X線検査、乳がん検査などのオプション検査まで希望に合わせて設けた3コースを実施する他、高岡総合健診センターで受診できる人間ドックも受け付けている。会員事業所従業員の生活習慣病予防や健康確保を推進した。



9.13

提案型営業セミナー

営業の基本と実践テクニックについて学ぶ

会社の売上を伸ばし発展させていくために、営業活動の強化は大きな課題と言える。「実践的で、どんな業種の営業でも、すぐに使える手法」をテーマとした提案型営業手法セミナーを開催し、21名が参加した。講師の「小さな会社」の企業コンサルタント吉見 範一氏より、あがり症だった自分が、全国トップクラスの成績を収めるまでになった「独自手法」を大公開した。受講者は、理解を深めるだけでなく自身の営業スタイルを見直す機会となった。



御旅屋人マーケット 「会議所ブース」出店

商品改良及び新商品開発のヒントを得る

御旅屋通りをメイン会場として開催している統一コンセプトにもとづいた定期マーケットである御旅屋人マーケットに今回初めて「会議所ブース」を設置した。テーマを「高岡のうまみとたくみ」とし、4社の会員事業者が出店し自社商品のテストマーケティングを行った。テスト販売を通じて、更なる商品改良及び新商品開発に繋げる機会となった。



ふしき・あまはらしプレミアム商品券

伏木・太田地区限定プレミアム率30%

伏木地区の商業団体が共同で発行する「ふしき・あまはらしプレミアム商品券」が伏木コミュニティセンターで販売された。地域の消費促進をはかるため伏木、太田地区に限定した110店あまりが取扱店舗として参加しており、プレミアム率は30%。3度目となる地域商品券は大変人気があり、事前に抽選申込のうえ当選した市民が次々と引き換え会場を訪れ会場は一日中賑わった。使用期限は11月30日まで。



3級簿記講座

日商簿記3級の資格取得を目指す

正確な簿記の実務や記帳方法、経理を学びたいと考えている方、初めて簿記を学ぶ方、簿記3級の取得を目指す方を対象とした簿記の基礎講座が開講した。富山県立高岡商業高等学校の長峰 弘通 教諭が講師を務め、9月25日～10月27日の間で全14回の日程で行われる。14名の方が参加し、熱心にメモを取りながら講義を聴いていた。11月19日に第165回日商簿記検定試験が行われる予定で、3級取得を目指す方はこの日に合わせて学習していく。

あなたの会社・ お店の新商品やイベント、 キャンペーンを 掲載してみませんか？

高岡商工会議所会報誌「たかおか」では、掲載する情報を随時募集しています。メンバーズニュースでは事業所の紹介、インフォメーションでは新商品・サービス・イベントやキャンペーンなどの紹介を行っています。掲載は会員事業所限定で、無料です。お気軽にお問い合わせください。

【掲載の詳細・お問合せ】

商工観光課 TEL 23-5002

